

尾坂兼一, 日本水文水資源学会, 水文水資源学会誌  
編集委員(2014年4月～2015年3月)

尾坂兼一, 日本陸水学会, Limnology, 編集委員(2014  
年4月～2015年3月)

田辺祥子, マリンバイオテクノロジー学会評議員  
(2013年4月～2015年3月)

浦部美佐子, 日本生態学科近畿地区会委員(2014年  
4月～2015年3月)

### 3) 国際貢献・海外調査等

伴修平, スペイン, バジャドリド大学における水処  
理研究に関する研修, 2014年5月17日～22日.

伴修平, 中国海南省における渦鞭毛藻類調査, 2014  
年8月28日～31日.

伴修平, 中国海南省における渦鞭毛藻類調査, 2015  
年3月3日～6日.

伴修平, 浦部美佐子, 田辺(細井)祥子, フィリピン,  
サント・トマス大学理学部との合同シンポジウ  
ムの開催, 2015年2月9日～13日.

丸尾雅啓, 海洋観測船白鳳丸航海 KH14-6 次航海に  
おける南極海および南太平洋における海洋調査,  
2014年12月23日～2015年1月23日

田辺祥子, 中国海南省における養殖魚貝類の輸入状  
況調査, 2014年8月28日～31日, 2014年3月  
3日～8日

田辺祥子, フィリピン, サント・トマス大学理学  
部と本学環境科学部との学部間協定を通じた第  
1回合同シンポジウムにおける話題提供, 10-16  
February, Manila, Philippine.

田辺祥子, JSPS Asian CORE Program「東南アジ  
アにおける沿岸海洋学の研究教育ネットワーク  
構築」HAB group.

### 13. マスメディアとの対応

1) TV, ラジオ番組への出演等  
なし

2) 新聞, 雑誌等からの取材による記事

伴修平(2015)京都新聞記事『琵琶湖 遠くから近くか  
ら 第1部 いま, 水辺で 4内湖の力「適度な濁  
り」真珠育む』, 京都新聞, 2015年1月19日.

## 環境政策・計画学科

### 1. 受賞

Best Poster Award, Hirayama, N., Honda, R., G. T.  
Chaminda, S.K. Weragoda, N.I. Wickremasinghe,  
G. Amarasooriya, Teraoka, Y. and Kawashima,  
T.(2014) Factors affecting people's preferences  
on lake function for sustainable management of  
Kandy Lake, Sri Lanka, The 11th International  
Symposium on Southeast Asian Water  
Environment, Bangkok, Thailand(2014/11/28)

松本健一(2014)特別表彰, 滋賀県立大学.

### 2. 著書

滋賀県立大学環境フィールドワーク研究会(2015)フ  
ィールドワーク心得帖 新版, 小野奈々, 林宰司,  
村上修一, 第3章「社会・コミュニティの調査」,  
サンライズ出版, 22-31.

小野奈々・林宰司・村上修一(2015)社会・コミュニ  
ティの調査の準備, フィールドワーク心得帖 [新  
版], サンライズ出版, pp.21-29.

香川雄一(2014)環境地政学:安全性と持続可能性(翻  
訳), コーリン・フrint著 高木彰彦編訳『現  
代地政学 グローバル時代の新しいアプローチ,  
原書房:279-314.

左巻健男, 平山明彦, 九里徳泰編著(2014): 新訂  
地球環境の教科書10講. 金谷健, 8章2節  
「国際的なごみ問題」, 8章3節「ごみ問題の  
今後」, 東京書籍, 東京.

滋賀県立大学環境フィールドワーク研究会(2015)フ  
ィールドワーク心得帖 新版, 香川雄一, 林宰司,  
第1章「フィールドワークとは?」, サンライズ  
出版, 5-11.

滋賀県立大学環境フィールドワーク研究会(2015)フ  
ィールドワーク心得帖 新版, 増田清敬, 林宰司,  
第4章「資料収集の仕方」, サンライズ出版, 33-  
42.

Gao, A.M.Z. and Fan, C.T. (eds.) (2014) Legal  
Issues of Renewable Electricity in Asia Region:  
Recent Development at a Post-Fukushima  
and Post-Kyoto Protocol Era. Morita, K. and  
Matsumoto, K. Renewable Energy-Related  
Policies and Institutions in Japan: Before and  
after the Fukushima Nuclear Accident and the  
Feed-In Tariff Introduction. 3 - 28, Kluwer Law  
International, Alphen aan den Rijn.

- Leal, W. (ed.) (2014) Handbook of Climate Change Adaptation. Morita, K. and Matsumoto, K., Enhancing Biodiversity Co-benefits of Adaptation to Climate Change, Springer: DOI: 10.1007/978-3-642-40455-9\_21-1.
- Leal, W. (ed.) (2014) Handbook of Climate Change Adaptation. Morita, K. and Matsumoto, K., Financing Adaptation to Climate Change in Developing Countries, Springer: DOI: 10.1007/978-3-642-40455-9\_22-1.
- 滋賀県立大学環境フィールドワーク研究会編(2015) フィールドワーク心得帖 [新版]. 松本健一, コラム4「図表の作り方」, サンライズ出版, 彦根.
- アジア太平洋研究所編(2014)2014年版 関西経済白書. 林万平・木下祐輔・村上一真, 第7章3節「企業の事業継続におけるマネジメント人材の重要性」, アジア太平洋研究所, 大阪.
- Asia Pacific Institute of Research ed. (2014) Kansai in the Asia Pacific – Putting Our Knowledge Capital at the Heart of New Growth. Shima, A. and Murakami, K., Chapter 6 : Kansai's Knowledge and Challenges for Innovation, Asia Pacific Institute of Research, Osaka.
3. 論文
- 秋山道雄・松 優男(2015)場の性格からみた水利再編－宇曾川水系における地域用水水利権の認定をめぐる－, 彦根論叢(滋賀大学経済学会) No.403 : 122-135.
- 松 優男・秋山道雄(2014)土地改良区による環境用水導入の成立要因－滋賀県野洲川土地改良区の冬期通水を事例として－, 水資源・環境研究 27-2 : 26-35.
- 中西悠, 井手慎司(2014)魚のゆりかご水田プロジェクト実施地域の類型化と実施水田面積拡大のための方策の考察. 土木学会論文集 G(環境)70(6) : 151-158.
- 岩見麻子, 大野智彦, 木村道徳, 井手慎司(2014)公共事業計画策定過程の議事録分析による意見の協調・対立関係把握のための分析手法の開発. 土木学会論文集 G(環境)70(6) : 249-256.
- 井手慎司, 中居圭佑(2014)琵琶湖の今後の汚濁負荷対策に関する研究者間の意見分布の把握. 環境システム計測制御学会誌 19(2/3) : 83-91.
- 香川雄一(2015)アメリカ合衆国における環境運動の変遷に見られる地域的特徴の変容, 同志社アメリカ研究 51 : 67-86.
- 清水康平, 金谷健(2014) : 自治体における事業系ごみへの搬入規制等の実施実態と効果的な事業系ごみ減量施策, 土木学会論文集 G, 70(6), pp. II\_1- II\_10.
- 松下幸司, 高橋卓也, 吉田嘉雄, 仙田徹志(2015)中日本地域の生産森林組合の保有山林面積別組合数－2005年農林業センサスの林業経営体－, 入会林野研究 35 : 46-47.
- Hirayama, N., Honda, R., G. T. Chaminda, S.K., Weragoda, N.I., Wickremasinghe, G., Amarasooriya, Teraoka, Y. and Kawashima, T., A Pilot Study of Water Quality and People's Importance Level, towards Sustainable Management of Kandy Lake Basin, Sri Lanka Proceedings of the 3rd International Symposium on Advanced Civil and Environmental Engineering Practices for Sustainable Development, pp141-147
- 小國和子, 平山奈央子(2014)アクション・リサーチを通じた相互作用機会の創出－農民による地域固有の持続的灌漑管理実現に向けて－, 国際開発学会第25回全国大会発表論文
- N.Hirayama, R.Honda, and 6 co-author (2014) Factors affecting people's preferences on lake function for sustainable management of Kandy Lake, Sri Lanka, The 11th International Symposium on Southeast Asian Water Environment, Bangkok, Thailand
- N. Hirayama, M.Nakamura(2014)The Heartware Challenges in Lake Biwa Comprehensive Conservation Plan, 15<sup>th</sup> World Lake Conference, Perugia, Italy
- Matsumoto, K., Tachiiri, K., and Kawamiya, M. (2015) Impact of Climate Model Uncertainties on Socioeconomics: a Case Study with a Medium Mitigation Scenario. Computers & Operations Research, DOI: 10.1016/j.cor.2015.01.011.
- 松本健一(2015)気候安定化目標と社会経済シナリオ分析. 環境情報科学 44(1). 7～11.
- Matsumoto, K. and Andriosopoulos, K. (2014) Energy Security in East Asia under Climate Mitigation Scenarios in the 21st Century. Omega, DOI: 10.1016/j.omega.2014.11.010.
- Matsumoto, K. and Voudouris, V. (2015) Potential Impact of Unconventional Oil Resources on Major Oil-producing Countries: Scenario Analysis with the ACEGES Model. Natural Resources Research 24, 107-119.
- 中田沙羅・松本健一(2014)住宅用太陽光発電システ

ム導入に対する補助金制度の有効性の実証研究．  
土木学会論文集 G(環境)70(5). I\_121-I\_128.

Matsumoto, K. (2014) Energy Structure and Energy Security under Climate Mitigation Scenarios in China. Proceedings of 4th IAEE Asian Conference.

Matsumoto, K., Tachiiri, K., and Kawamiya, M. (2014) Evaluating Different Emission Pathways for Fixed Cumulative CO2 Emissions in the 21st Century. Proceedings of 53rd Meeting of the EWGCFM and 2nd International Conference of the RCEM.

Matsumoto, K. and Tachiiri, K. (2014) Integration of Climate and Economic Modeling Studies. Proceedings of Japan Geoscience Union Meeting 2014.

村上一真(2014)サプライチェーンを通じた環境経営の移転・普及メカニズムに関する研究，食生活科学・文化、環境及び医療に関する研究助成 研究紀要，第27巻，165-177.

Kimbara, T. and Murakami, K.(2014)International Transfer of Environmental Management by Japanese Firms in Vietnam, World Review of Business Research, 4(2), 134-148.

Kimbara, T., Murakami, K. and Tapachai, N.(2014) Environmental Management Transfer and Environmental Performance by Japanese Firms in Thailand, Applied Environmental Research, 36(4), 81-90.

金原達夫・村上一真(2014)本社および海外子会社における環境経営メカニズムの比較分析，修道商学，55(1),1-20.

村上一真・金原達夫(2014)タイ日系企業における環境経営の促進要因と環境パフォーマンスの規定要因の分析，環境情報科学学術研究論文集，28, 185-190.

村上一真(2015)2011年夏季の専業主婦の節電行動の規定要因の分析：個人費用便益認知と社会費用便益認知の比較を中心に，環境科学会誌，28(1), 16-26.

#### 4. 作品

なし

#### 5. 報告書、その他著作、一般向け記事

1) 科研費他外部研究費による研究の成果報告書  
秋山道雄・足立孝之・松 優男・中野光議(2015)環境用水の復活を通じた都市水路の保全・自然再生の研究、公益信託 大成建設自然・歴史環境基金報告書、東京

2) 受託研究等の報告書  
松本健一(2014)経済モデルによる気候安定化目標に向けた社会経済シナリオの構築，海洋研究開発機構編，気候変動リスク情報創生プログラム「安定化目標値設定に資する気候変動予測及び気候変動研究の推進・連携体制の構築」平成25年度研究成果報告書：52-56.

村上一真(2015)共同研究，平成26年度報告書，「滋賀県産業振興ビジョン」にかかるモニタリング指標・手法研究．

3) ハンドブック，辞典，図鑑などへの執筆  
Nogami, H., Horihata, M., Ono, N., Art, R. (2014) Federative Republic of Brazil, A General World Environmental Chronology, GWEG Editorial Working Committee, Tokyo, Suiresha.

金谷健(2014)平成27年度版「産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の収集・運搬／処分課程講習会」テキスト，テキスト作成委員会、最終処分(執筆担当章)，公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター，東京.

4) 新聞，一般向け雑誌等への解説記事など  
秋山道雄(2014)中日新聞コラム「琵琶湖と環境」の軌跡，滋賀県立大学環境科学部年報 No.18、52-60.

秋山道雄(2014)2013年度冬季研究会「健全な水循環と水循環基本法」報告、水資源・環境学会ニュースレター No.65：6.

秋山道雄(2014)2014年度第31回研究大会「複合水災害と流域管理」報告．水資源・環境学会ニュースレター No.66：2-7.

秋山道雄・松 優男・本田恭子・柏尾珠紀・足立孝之(2014)水紀行「環境用水万華鏡」(9)用水の多面的機能発揮の試みー立梅用水(三重県勢和村(現多気町))ー、環境技術 43(4)：48 - 52、2014年5月20日．

小野奈々(2014)(書評)中田英樹著『トウモロコシの先住民とコーヒーの国民』日本村落社会学会編『村落社会研究ジャーナル』40：45-46.

小野奈々(2015)(会員だより)つながることと働くこと、協同の発見 268号(2015年3月号): pp3-6, 2015年3月15日。

香川雄一(2014)環境変化を追跡するためにアジアの過去の地形図を探索, アジ研ワールド・トレンド 224: 46.

香川雄一(2014)滋賀県における地球環境問題, 2014年 第7次県政研究報告 いのち輝く滋賀をめざして～県政改革の論点 2104～, 滋賀県自治体問題研究所, 27-31.

香川雄一(2014)近江八幡市からのヨシ群落保全創造業務委託事業への取り組み, 滋賀県立大学 環境科学部 環境科学研究科 年報, 18: 24-27.

高橋卓也(2014)(書評)西尾隆編『分権・共生社会の森林ガバナンスー地産地消のすすめー』, 林業経済, 第67巻第1号(786号): 19-22.

環びわ湖大学・地域コンソーシアム(2014), 明日の滋賀を展望する調査研究, 林宰司, 第6章「環境・エネルギーの課題」, 環びわ湖大学・地域コンソーシアム, 63-69.

Matsumoto, K. (2014) A Recent Issue on Feed-in Tariff by Kyushu Electric Power Company. RCEM: Views on Energy News. <http://www.rcem.eu/posts/2014/october/15/a-recent-issue-on-feed-in-tariff-by-kyushu-electric-power-company.aspx> (2014年10月15日).

松本健一(2014)国際的な気候変動対策のゆくえ。滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科コラム(2014年12月16日)。

Matsumoto, K. (2015) Climate Change Mitigation and Energy Security in East Asia. RCEM: Views on Energy News. <http://www.rcem.eu/posts/2015/february/23/climate-change-mitigation-and-energy-security-in-east-asia.aspx> (2015年2月23日)。

## 6. 学会等への発表

足立考之・秋山道雄・松 優男・長瀬督哉(2014)環境用水の課題と展望, 環境技術学会第14回年次大会, 京都市, 2014年9月14日。

松 優男・足立考之・秋山道雄(2013)土地改良区による地域用水導水の流出水対策としての評価, 環境技術学会第14回年次大会, 京都市, 2014年9月14日。

井手慎司(2014)琵琶湖の今後の汚濁負荷対策に関する研究者間の意見分布の把握, 第26回環境システム計測制御学会研究発表会, 大津市, 2014年

10月24日。

浅野敏久、金 科哲、伊藤達也、平井幸弘・香川雄一・フंक・カロリン(2014)ラムサール条約湿地に対するイメージの日韓差ー韓国の厳しい湿地保護制度が受容される背景ー, 地理科学学会大会, 東広島市, 2014年6月8日。

香川雄一(2014)大学生によるヨシ群落保全活動への参加ー近江八幡市役所から滋賀県立大学への委託事業を事例としてー, 水郷水都全国大会, 東広島市, 2014年12月7日。

香川雄一・莫佳寧(2015)地形図の変遷から見た洞庭湖の面積変化に関する研究, 日本地理学会, 東京都, 2015年3月28-29日。

上河原献二(2014)地球環境条約の実施を通じた政策の学習と移転ー外来生物法導入過程の事例研究によるー, 環境法政策学会2014年度学術大会, 名古屋大学, 名古屋市, 2014年6月21日

上河原献二(2015)資源の次世代継承に関する国際的な取り組みとその問題点, 環境経済の政策研究国際ワークショップ, 環境省委託研究「政策展開・評価型の持続的発展指標開発とそれに必要な統計情報の強化に関する研究」研究グループ, 京都大学, 京都市, 2015年2月15日

高橋卓也, 山元周吾, 松下幸司(2014)入会林野「近代化」からみたコモンズ施策の促進・阻害要因: 都府県クロスセクションデータの分析から, 環境経済・政策学会2014年大会, 法政大学多摩キャンパス, 東京都町田市(2014年9月14日)。

松下幸司, 高橋卓也, 吉田嘉雄, 仙田徹志(2014)農林業センサスによる生産森林組合の統計的把握に関する一考察, 第65回応用森林学会大会, 京都府立大学, 京都市(2014年11月2日)。

松下幸司, 高橋卓也, 青嶋敏, 吉田嘉雄, 仙田徹志(2015)農林業センサスによる慣行共有林野の統計的把握に関する一考察, 第126回日本森林学会大会, 北海道大学, 札幌市(2015年3月28日)。

高橋卓也, 松下幸司(2015)都府県別入会林野整備データ分析による諸要因の解明: 時系列変動に着目して, 第126回日本森林学会大会, 北海道大学, 札幌市(2015年3月28日)。

Hirayama, N., Honda, R., G. T. Chaminda, S.K. Weragoda, N.I. Wickremasinghe, G. Amarasooriya, Teraoka, Y. and Kawashima, T., A Pilot Study of Water Quality and People's Importance Level, towards Sustainable Management of Kandy Lake Basin, Sri Lanka Proceedings of the 3rd International Symposium on Advanced Civil and Environmental Engineering Practices for

- Sustainable Development, pp141-147(2104 年 11 月 27 日)
- 小國和子, 平山奈央子(2014)アクション・リサーチを通じた相互作用機会の創出－農民による地域固有の持続的灌漑管理実現に向けて－, 国際開発学会第25回全国大会発表論文(2104年11月29日)
- Hirayama, N., Honda, R. and 6 co-author (2014) Factors affecting people's preferences on lake function for sustainable management of Kandy Lake, Sri Lanka, The 11th International Symposium on Southeast Asian Water Environment, Bangkok, Thailand(2105年3月10日)
- Matsumoto, K. (2014) Evaluating Multiple Emission Pathways for Fixed Cumulative CO<sub>2</sub> Emissions from Socioeconomic Perspectives. International Workshop on Risk Information on Climate Change: Japan Agency for Marine-earth Science and Technology, Japan (2014年11月25～27日).
- Matsumoto, K. (2014) Energy Structure and Energy Security under Climate Mitigation Scenarios in China. 4th IAEE Asian Conference: Beijing, China (2014年9月19～21日).
- 中田沙羅・松本健一(2014)住宅用太陽光発電システム導入に対する補助金制度の有効性の実証研究. 第22回地球環境シンポジウム: 中央大学(2014年9月3～5日).
- Matsumoto, K., Tachiiri, K., and Kawamiya, M. (2014) Evaluating Different Emission Pathways for Fixed Cumulative CO<sub>2</sub> Emissions in the 21st Century. 53rd Meeting of the EWGCFM and 2nd International Conference of the RCEM: Chania, Greece (2014年5月21～24日).
- Matsumoto, K. and Tachiiri, K. (2014) Integration of Climate and Economic Modeling Studies. Japan Geoscience Union Meeting 2014(日本地球惑星科学連合2014年大会): Pacifico Yokohama, Japan (2014年4月28日～5月2日).
- Kimbara, T. and Murakami, K.(2014)CSR Assessment and Transfer of Environmental Practices to Overseas Subsidiaries, IFSAM 2014 World Congress, Tokyo, 2-4 September 2014.
- 村上一真(2014)節電数値目標の有無と電気代値上がり節電行動に与える影響の分析, 環境経済・政策学会2014年大会, 法政大学, 2014年9月13日.
- 村上一真, 金原達夫(2014)タイ日系企業における環境経営の促進要因と環境パフォーマンスの規定要因の分析, 第28回環境情報科学 学術研究論文発表会, 日本大学, 2014年12月16日.
- Kimbara, T. and Murakami, K.(2015)Does Financial Performance Enhance the Transfer of Environmental Management Practices to Overseas Subsidiaries?, The 8th Asia-Pacific Business Research Conference, Kuala Lumpur, Malaysia, 9-10 February 2015.
7. 研究会等、講演会、特別講義での発表
- 1) 研究会等における発表
- 秋山道雄(2014)日本の水資源・環境政策, 三宮研究会, 名古屋市, 2014年5月14日.
- 秋山道雄(2014)地域政策の中の大都市圏政策, 地域政策研究会, 豊中市, 2014年5月30日.
- 秋山道雄(2014)愛知川水系の研究動向(2014年度), 総合地球環境学研究所「水土の知」ワークショップ, 京都市, 2014年11月16日.
- 小野奈々・藤原明彦(2014)地域福祉を推進する仕組みの研究: 福祉委員の役割に着目して, 滋賀県立大学COC公募型地域課題研究 報告会(彦根市), 彦根市, 2014年9月18日.
- 小野奈々(2014)NPOの特性と水環境保全－環境社会学からみた守山事例研究の考察－, 第33回環境用水研究会, 京都市, 2014年9月27日.
- 小野奈々(2014)水利秩序再編の歴史的条件, 総合地球環境学研究所C-09-Init 水土の知プロジェクト2014年度全体研究会, 京都市, 2014年11月16日.
- 香川雄一(2015)健康・環境地理と都市社会地理学, 日本地理学会健康地理研究グループ 第1回研究集会, 東京都, 2105年3月29日.
- 平山奈央子(2014)水過不足の実態とコミュニケーションに関する調査結果, 総合地球環境学研究所C-09-Init 水土の知プロジェクト2014年度全体研究会, 京都市, 2014年11月16日.
- 松本健一(2014)気候変動対策とエネルギー安全保障: RCPシナリオを用いた分析. 環境と貿易研究所研究会: 京都産業大学(2015年2月18日).
- 2) 講演会
- 秋山道雄(2014)環境用水を地域のなかで生かす, 滋賀県高等学校社会科教育研究会第1回地理部会研究会, 長浜北高等学校, 2014年6月24日.
- 井手慎司(2014)マザーレイク21計画の改定に果たした研究者の役割, 第17回日本水環境学会シンポジウム, 滋賀県立大学交流センター, 2014年9月9日.

高橋卓也 (2014) 森林施業プランナー育成研修「利用間伐のコスト把握・分析(講義)」, 一般社団法人滋賀県造林公社, 滋賀県農業教育情報センター, 2014年8月6日.

高橋卓也 (2014) 森林施業プランナー育成研修「目標林型と育林技術(講義)」「間伐と選木実習(講義, 現地実習)」, 一般社団法人滋賀県造林公社, 大滝山林組合, 2014年10月8日.

高橋卓也 (2015) 入会林野整備のマクロ分析と政策転換の可能性, 平成26年度入会林野コンサルタント中央会議, 農林水産省林野庁, 東京都千代田区, 2015年3月12日.

松本健一 (2014) 気候緩和シナリオ下のエネルギー構成・安全保障: 東アジアを対象として. シンポジウム「東アジアのエネルギー・環境政策選択」: 名古屋大学(2014年6月14日).

### 3) 授業

井手慎司 (2014) 数学モデルとシミュレーション(出前講義), 滋賀県立米原高等学校, 米原市, 2014年11月11日.

金谷健 (2014) 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の収集・運搬/処分課程講習会での講義(更新講習会: 中間処理・再生利用), 公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター, アヤハレクサイドホテル(2014年6月11日), 大阪商工会議所(2014年9月19日), 岡山商工会議所(2014年10月10日).

金谷健 (2014) 産業廃棄物の収集・運搬課程での講義(新規講習会: 環境概論), 公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター, 榎原商工会議所(2014年6月17日), アヤハレクサイドホテル(2014年7月15日).

金谷健 (2014) 産業廃棄物の収集・運搬/処分課程講習会での講義(新規講習会: 中間処理・再生利用), 公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター, 四日市商工会議所, 2014年9月3日.

金谷健 (2014) 特別管理産業廃棄物の収集・運搬/処分課程講習会での講義(新規講習会: 中間処理・再生利用), 公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター, 大阪商工会議所(2014年10月29日), ウィンクあいち(2015年2月18日).

### 8. 展覧会等

なし

### 9. 競争的研究資金の導入

#### 1) 本学特別研究

鶴飼修, 林宰司. 公募型地域課題研究, 持続可能な地域まちづくりビジョン創造手法の開発, 平成26年度, 110万円.

#### 2) 科学研究費補助金

秋山道雄・横山秀司・浜端悦治・香川雄一・塚本礼仁・長谷川直子. 湖沼流域における沿岸エコトーンの景観生態学的特性把握と環境資源管理に関する研究, 基盤研究(C), 平成24~26年度, 160万円(継続).

小野奈々 (2014) 環境保全におけるパートナーシップ的發展論の環境社会学的研究, 平成26~29年度, 1040千円.

高橋卓也・奥村進・香川雄一. 環境保全、多様な嗜好、長期の時間軸の3要素を統合する市町村森林計画手法の開発, 基盤研究(C), 平成24~26年度, 1481万円.

浅野敏久, 伊藤達也, 金料哲, 平井幸弘, 香川雄一. 湿地のワイズユース再考-グリーン経済化の流れとその問題点-, 基盤研究(B), 平成25~27年度, 60万円.

林宰司. 公募型地域課題研究, 日中間再生資源貿易・リサイクル産業の環境経済分析, 平成24年度~26年度, 65万円.

松本健一. エージェントベースモデルによる統合的なエネルギー需給・資源の将来シミュレーション, 若手研究(B), 平成24~26年度, 156万円.

李秀澈, 松本健一, 他. 東アジアの持続可能な発展のためのエネルギー・環境財政のグリーン改革, 基盤研究(A), 平成25~28年度, 1079万円.

村上一真. 家庭での節電行動の意思決定および節電効果に影響を与える要因解明の実証研究, 若手研究(B), 平成25~27年度, 130万円.

金原達夫, 木村弘, 村上一真. 多国籍企業における環境経営と国内・海外サプライヤーへの波及に関する研究, 基盤研究(B), 平成24~26年度, 150万円.

#### 3) 政府および地方公共団体(関連法人を含む)からの補助金

河宮未知生, 松本健一, 他68名. 安定化目標値設定に資する気候変動予測, 文部科学省気候変動リスク情報創生プログラム, 平成24~28年度, 13485万円/年.

## 4) その他財団からの研究補助金

秋山道雄、足立孝之、松優男、中野光議．環境用水の復活を通じた都市水路の保全・自然再生の研究、公益信託 大成建設自然・歴史環境基金、平成25年度、40万円．

## 5) 受託研究の受け入れ

松本健一．安定化目標値設定に資する気候変動予測、海洋研究開発機構受託研究、平成26年度、190万円．

村上真一．「滋賀県産業振興ビジョン」にかかるモニタリング指標・手法研究、共同研究、平成26年度、30万円．

## 10. 研究員の受入

なし

## 11. 特許、実用新案、品種登録、意匠、その他著作権に関わる事項

なし

## 12. 社会への貢献

## 1) 各種委員会

秋山道雄(2014)総合地球環境学研究所共同研究員 5回

秋山道雄(2014)琵琶湖統合研究に係るタスクチーム チーム員 1回

秋山道雄(2014)彦根市工場等設置奨励審査委員会委員、彦根市商工課、1回．

秋山道雄(2015)守山市環境審議会委員、守山市環境政策課、1回

秋山道雄(2014)赤野井湾再生プロジェクト会長、守山市環境政策課、7回．

秋山道雄(2014)琵琶湖外来水生植物対策協議会副会長、滋賀県自然環境保全課、2回．

秋山道雄(2014)第1回買うエコ大賞審査委員長、一般社団法人滋賀グリーン購入ネットワーク、1回

井手慎司(2014)滋賀県琵琶湖レジャー利用適正化審議会 会長、滋賀県琵琶湖政策課、1回(2014年4月～2015年3月)

井手慎司(2014)滋賀県学術フォーラム 委員、滋賀県琵琶湖政策課、1回(2014年4月～2015年3月)

井手慎司(2014)マザーレイクフォーラム運営委員会委員、滋賀県琵琶湖政策課、8回(2014年4月～

2015年3月)

井手慎司(2014)赤野井湾流域流出対策推進連絡会 会長、滋賀県琵琶湖政策課、1回(2014年4月～2015年3月)

井手慎司(2014)滋賀県環境学習推進協議会 委員、滋賀県環境政策課、2回(2014年4月～2015年3月)

井手慎司(2014)滋賀県エコスクール発表会 司会、滋賀県環境政策課、2回(2014年4月～2015年3月)

井手慎司(2014)生物多様性地域戦略専門家会議 委員、滋賀県自然環境保全課、2回(2014年4月～2015年3月)

井手慎司(2014)琵琶湖岸漂着物環境美化研究会 委員、滋賀県循環社会推進課、4回(2014年4月～2015年3月)

井手慎司(2014)滋賀県環境こだわり農業審議会 会長、滋賀県食のブランド推進課、2回(2014年4月～2015年3月)

井手慎司(2014)近江八幡市環境審議会 会長、近江八幡市環境課、3回(2014年4月～2015年3月)

井手慎司(2014)国際湖沼環境委員会評議員会 評議員、国際湖沼環境委員会、1回(2014年4月～2015年3月)

井手慎司(2014)淡海文化振興財団理事会 理事、淡海文化振興財団、2回(2014年4月～2015年3月)

井手慎司(2014)未来ファンドおうみ運営委員会 委員長、淡海文化振興財団、4回(2014年4月～2015年3月)

井手慎司(2014)淡海環境保全財団評議会 評議員、淡海環境保全財団、1回(2014年4月～2015年3月)

井手慎司(2014)NPO 法人 子どもと川とまちのフォーラム理事会 理事、子どもと川とまちのフォーラム、13回(2014年4月～2015年3月)

小野奈々(2014)淡海の川づくり検討委員会(滋賀県河川整備計画検討委員会)委員、滋賀県土木交通部流域政策局流域治水政策室、1回(2013年12月5日から2015年12月4日まで)．

香川雄一(2014)東京大学空間情報科学研究センター、客員研究員、1回

香川雄一(2014)近江八幡市環境審議会、委員(副会長)、2回

香川雄一(2014)近江八幡市環境計画評価部会、委員(部会長)、3回

香川雄一(2014)近江八幡市風景づくり委員会、委員、1回

香川雄一(2014)大津市環境審議会、委員、1回

- 金谷健(2014)滋賀県環境審議会(廃棄物部会, 水・土壌・, 大気部会, 温暖化対策部会, 環境企画部会)委員・廃棄物部会長, 4回(2014年4月~2015年3月)
- 金谷健(2014)「クリーンセンター滋賀」環境監視委員会 委員長, 2回 (2014年4月~2015年3月)
- 金谷健(2014)「買い物ごみ減量推進フォーラムしが」全体会議 学識経験者, 2回 (2014年4月~2015年3月)
- 金谷健(2014)大津市廃棄物減量等推進審議会 副会長, 2回 (2014年4月~2015年1月)
- 金谷健(2014)彦根市廃棄物減量等推進審議会, 会長, 3回(2014年4月~2015年3月)
- 金谷健(2014)彦根市水道事業評価委員会 副委員長, 4回 (2014年4月~2015年3月)
- 金谷健(2014)草津市廃棄物減量等推進審議会, 委員, 1回(2015年2月)
- 金谷健(2014)草津市立クリーンセンター更新整備総合評価技術審査会, 副委員長, 5回(2014年4月~2015年1月)
- 金谷健(2014)高島市環境センターダイオキシン類濃度の基準超過に関する第三者調査委員会, 委員, 7回(2014年6月~2015年2月)
- 金谷健(2014)米原市コンポストセンター運営委員会, 会長, 5回(2014年5月~2015年3月)
- 金谷健(2014)野洲市廃棄物減量等推進審議会, 委員, 1回(2015年3月)
- 金谷健(2014)湖北広域行政事務センター廃棄物減量等推進審議会 副会長, 2回(2014年4月~2015年3月)
- 金谷健(2014)湖北広域行政事務センタークリスタルプラザ管理運営委員会 委員長, 1回(2014年4月~2015年3月).
- 金谷健(2014)彦根愛知犬上地域ごみ処理施設建設候補地選定委員会 委員長, 2回(2014年12月~2015年3月)
- 金谷健(2014)三重県ごみゼロプラン推進委員会 委員長, 3回(2014年4月~2015年3月)
- 金谷健(2014)高槻市廃棄物減量等推進審議会 会長, 5回(2014年4月~2015年3月)
- 金谷健(2014)島本町清掃工場包括運営検討委員会 委員長, 5回(2014年9月~2015年3月)
- 金谷健(2014)長寿命家具の品質基準評価委員会 委員, トキハ産業株式会社(所在地:枚方市), 2回(2014年4月~2015年3月)
- 上河原 献二, 動植物園等の公的機能推進方策のあり方検討会, 三菱総合研究所(環境省委託業務), 委員, 2回
- 高橋卓也 (2014) NPO 法人三方よし研究所, 理事, 滋賀県, 6回(2014年4月~2015年3月).
- 高橋卓也 (2014) 近江八幡市廃棄物減量等推進審議会, 委員, 近江八幡市, 3回(2014年4月~2015年3月).
- 高橋卓也(2014)滋賀グリーン購入ネットワーク, 副会長・理事・幹事, 滋賀グリーン購入ネットワーク, 4回(2014年4月~2015年3月).
- 高橋卓也(2014)滋賀県リサイクル製品認定懇話会, 委員, 滋賀県, 1回(2014年4月~2015年3月).
- 高橋卓也 (2014) 特定地域再生計画研究会, 委員, 多賀町, 3回(2014年4月~2015年3月).
- 高橋卓也 (2014) 長浜市森林ディレクション審議会, 会長・委員, 長浜市, 3回(2014年4月~2015年3月)
- 高橋卓也(2014)南部流域森林づくり研究会 会員・コーディネーター, 滋賀県, 4回(2014年4月~2015年3月).
- 高橋卓也 (2014) 琵琶湖森林ローカルシステム専門委員会, 委員, 湖東地域材循環協議会, 1回(2014年4月~2015年3月).
- 林宰司, 湖北広域行政事務センター, 審議委員, 1回(2014年11月)
- 林宰司, 日本経済政策学会, 関西部会理事, (2014年4月~2015年3月)
- 林宰司, 特定非営利活動法人 地球環境市民会議, 理事(2014年4月~2015年3月).
- 平山奈央子(2014)淀川水系流域委員会 委員, 2回(2014年4月~2015年3月)
- 平山奈央子(2014)彦根愛知犬上地域ごみ処理施設建設候補地選定委員会 委員, 1回(2014年12月~2015年3月)
- 平山奈央子(2014)大津市廃棄物減量等推進審議会 副会長, 1回(2015年2月~2015年3月)
- 平山奈央子(2014)彦根市廃棄物減量等推進審議会 委員, 3回(2014年4月~2015年3月)
- 平山奈央子(2014)総合地球環境学研究所コアメンバー会議, 共同研究員, 1回(2014年4月~2015年3月)
- 平山奈央子(2014)河川レンジャー活動報告会, 琵琶湖河川レンジャー, 1回(2014年4月~2015年3月)
- 平山奈央子(2014)NPO 法人碧いびわ湖理事会 理事, NPO 法人碧いびわ湖, 4回(2013年10月~2014年3月)
- 平山奈央子(2014)NPO 法人 理事, NPO 法人近畿環境市民活動相互支援センター, 1回(2013年10月~2014年3月)

平山奈央子(2014)マザーレイクフォーラム運営委員会委員, 滋賀県琵琶湖政策課, 1回(2014年4月～2015年3月)

松本健一, 滋賀県高島市環境審議会, 副会長, 0回(2014年4月～2015年3月).

松本健一, 高島市環境センター管理運営委員会, 委員, 1回(2014年12月～2015年3月).

松本健一, 気候変動リスク情報創生プログラムテーマB「安定化目標値設定に資する気候変動予測」運営委員会, 委員, 2回(2014年4月～2015年3月).

村上一真(2015)彦根市工場等設置奨励審査委員会委員, 彦根市商工課, 1回.

## 2) 学会貢献

秋山道雄(2014)人文地理学会常任理事, 2回.

秋山道雄(2014)経済地理学会関西支部幹事, 3回

秋山道雄(2014)経済地理学会2015年度大会実行委員会委員, 2回.

秋山道雄(2014)水文・水資源学会編集出版委員会編集出版委員, 1回.

秋山道雄(2014)地域地理科学会関西支部会長, 1回.

秋山道雄(2014)中国水利史研究会理事, 1回.

秋山道雄(2014)水資源・環境学会理事, 4回.

井手慎司(2014)環境システム計測制御学会評議員・編集アドバイザー, 環境システム計測制御学会, 4回(2014年4月～2015年3月)

小野奈々, フォーラム現代社会学専門委員(関西社会学会), 2013年10月1日～継続

香川雄一(2014)人文地理学会, 編集委員会, 4回

松本健一, Member of Scientific Advisory Board of 9th Dubrovnik Conference on Sustainable Development of Energy, Water and Environment Systems (2014年4月～9月).

松本健一, Member of Scientific Advisory Board of 10th Dubrovnik Conference on Sustainable Development of Energy, Water and Environment Systems (2014年11月～2015年3月).

松本健一, Member of Scientific Advisory Board of 1st South East European Conference on Sustainable Development of Energy, Water and Environment Systems (2014年4月～2014年7月).

松本健一, Member of Scientific Committee of 8th International Scientific Conference on Energy and Climate Change (2015年3月～2015年3月).

## 3) 国際貢献・海外調査など

井手慎司(2014)Conservation and Citizen activities

for Environment, JICA 湖沼環境保全のための統合的流域管理コース, (財)国際湖沼環境委員会, (財)国際湖沼環境委員会, 2014年10月15日.

井手慎司(2014)Introduction to Lake Modeling, JICA 湖沼環境保全のための統合的流域管理コース, (財)国際湖沼環境委員会, (財)国際湖沼環境委員会, 2014年11月10日.

井手慎司(2014)アクションプラン発表と講評, JICA 湖沼環境保全のための統合的流域管理コース, (財)国際湖沼環境委員会, (財)国際湖沼環境委員会, 2014年11月27日.

香川雄一, ヨーロッパでのラムサール条約登録湿地調査, 2014年8月19日～8月27日.

高橋卓也 (2014)水資源・環境学会, 理事, 5回(2014年4月～2015年3月).

高橋卓也 (2014)『水資源環境研究』編集委員会, 編集委員, 2回(2014年4月～2015年3月).

高橋卓也 (2014)『林業経済研究』編集委員会, 編集委員, 1回およびインターネット上で業務に従事(2014年4月～2015年3月).

Takahashi, T. (2014) Corporate Social Responsibility and Environmental Management (John Wiley & Sons), Advisory Board Member, (インターネット上で業務に従事)(2014年4月～2015年3月).

平山奈央子(2014)アメリカ, 環境保全活動の連携や協働に関する利害関係者の意思決定プロセス分析, 2014年7月23日～9月26日

平山奈央子(2014)インドネシア, 農業用水管理に関するステークホルダーミーティングの準備と実施, 2015年3月14日～3月20日

平山奈央子(2014)スリランカ, キャンディ湖流域の持続可能性評価に関する現地調査, 2015年3月6日～3月10日

松本健一(2014)エージェントベースモデルによるエネルギー資源分析に関する調査(イギリス), 2014年8月1～3日/8月9～19日.

松本健一(2014)東アジアの持続可能な発展のためのエネルギー・環境財政のグリーン改革に関する調査(イギリス), 2014年8月4～8日.

松本健一(2014)ESCP Europe ビジネススクール国際研究員(イギリス), 2014年9月～2015年3月

松本健一(2014)Research Fund of National Center of Science and Technology Evaluation, Ministry of Education and Science, Republic of Kazakhstan レビューア, 2014年11月～12月.

村上一真(2014)タイでの企業等へのヒアリング調査. 2014年8月24日～8月27日

村上一真(2015)ベトナムでの企業等へのヒアリング調査. 2015年3月23日～3月27日

4) その他

倉茂好匡, 松本健一, 山田歩, 柳沼勇多, 普通救命講習 I 講師, 滋賀県立大学, 彦根市, 2015年2月5日.

13. マスメディアとの対応

なし

環境建築デザイン学科

1. 受賞

芦澤竜一(2014)第5回木質建築空間デザインコンテスト最優秀賞受賞, 日本エンバイロケミカルズ株式会社, 風の音

芦澤竜一(2014)第17回 木材活用コンクール日本木材青壮年団体連合会会員特別賞, 日本木材青壮年団体連合会, 風の音

芦澤竜一(2014)第46回中部建築賞入賞, 一般財団法人東海建築文化センター, セトレマリーナびわ湖

芦澤竜一(2014)第13回芦原義信賞, 一般社団法人社日本建築美術工芸協会, セトレマリーナびわ湖

芦澤竜一(2014)JCD デザインアワード銀賞, 一般社団法人日本商環境デザイン協会, セトレマリーナびわ湖

芦澤竜一(2014)JCD デザインアワード100選, 一般社団法人日本商環境デザイン協会, FACTORY ON THE EARTH

芦澤竜一(2014)Re-thinking The Future Award Second Award(インド), Rethinking The future, セトレマリーナびわ湖

芦澤竜一(2014)Re-thinking The Future Sustainability Award 2014 Third Award(インド), Rethinking The future, セトレマリーナびわ湖

芦澤竜一(2014)パッシブ デザインコンペ 2014 住宅部門大賞, 一般社団法人パッシブデザイン協議会, 風の間

芦澤竜一(2014)第13回屋上・壁面・特殊緑化技術コンクール審査員特別賞・屋上緑化部門, 公益財団法人都市緑化機構, Secret Garden

芦澤竜一, 稲田純一(2014), World Architecture Festival 2014 ノミネート, WAF, FACTORY ON THE EARTH

LEAF AWARD 2014 ノミネート, セトレマリーナびわ湖/風の音

陶器浩一, 高橋和志, 永井拓生(2014)日本建築学会作品選奨, 日本建築学会, 竹の会所

永井拓生, 他(2014)第17回木材活用コンクール・部門賞, 日本木材青壮年団体連合会, Dragon Court Village

永井拓生, 他(2014)AR House Awards 2014 Highly Commended, The Architectural Review, Dragon Court Village

永井拓生, 他(2014)JCD インターナショナルデザインアワード 2014・BSET100, 一般社団法人日